

令和 8年 4月 24日 (金) 安全大会



・本日の議題

- ①工事の現況と今後の予定（専務）
- ②各現場状況報告（又は問題点）
- ③その他

（注）安全大会の時刻は18：00（集合次第）～19：00とします。
その後は、自由参加としますので適時解散してください。

議題①：工事の現況と今後の予定

お疲れ様です。4月となり時おり暑い日もありますが、今の時期は昼夜の寒暖差が大きいため引き続き防寒など風邪をひかぬよう自分自身の体調管理に気を付けてください。

近頃、先月も少し話をしましたが、海外に目を向けるとイラン他軍事摩擦によるホルムズ海峡の事実上の封鎖、逆封鎖にて我々が暮らす日本への余波も出てきております。燃料価格の上昇は徐々に出てきていますが、石油系製品に必要原料ナフサの不足や輸送ルート of 断絶により、物資が一部品薄状態になり、建築やリノベーション工事が現場休工になる可能性がある等お話を聞いています。

現状、我々業界には休工になるほどの影響は出ておりませんが、関係各所との話の中では中長期的にみて各協力会社からの処分費や運搬費のほか、今後も単価上昇していく傾向にあり、価格上昇を見据えた物件受注に向けお客様や協力会社様と協議や関係を繋いでいる状況です。

我々企業として各物件の効率的な解体施工、適正人員数配置の管理徹底を行い安全かつ迅速な工期で仕事を納め安定的な利益確保を目指していきましょう。

～ 地中障害等撤去の確認について（撤去状況の報告徹底の強化） ～

別紙参照

引き続き、無事に帰宅できる現場づくりを完備し、さらにレベルの高い現場づくりを繋ぎ続け、現場を頂くお客様や当社職員、関係各社全員の幸せな生活を守っていただけるよう皆で頑張ってください。

ご 安 全 に

4月の玉掛ワイヤーの点検職は…

白 色

です。

4月27日(月) 一斉点検(LINEで点検写真アップ)

※ 当社としての基本的心得 ※

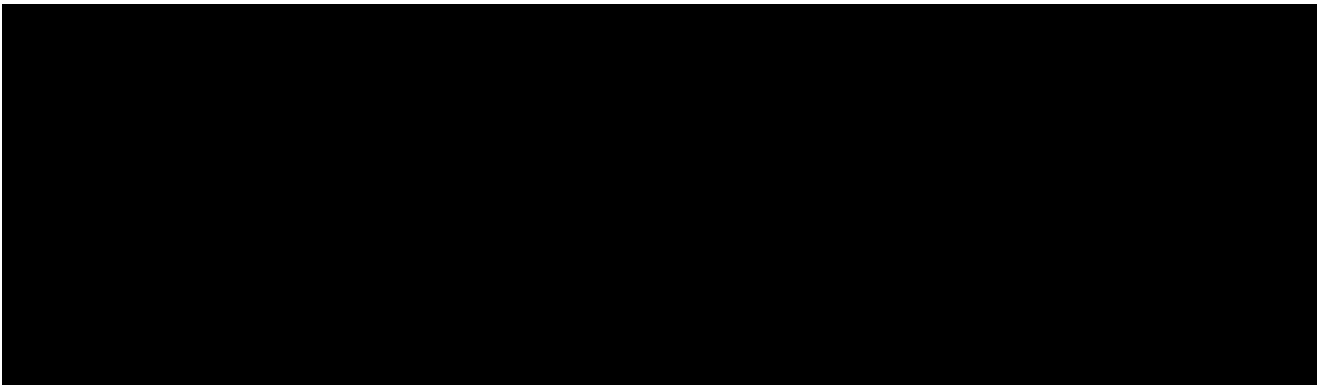
1. ヘルメット・ハーネス・安全靴等作業に適した**保護具適正使用の徹底**に努める「基本は毎日習慣に」
2. 場内の重機作業エリアとの**区画整備・安全通路区画整備の徹底**に努める「重機接触は即死亡災害」
3. 場内及び現場周辺道路等の**清掃を定期的に行い美化**に努める「きれいな現場では事故は起きない」
4. 壁倒し後のガラ受けや**犬走の掃除**を毎度忘れずに「そのまま噛んだら足場や近隣様所有物を破損してしまう」
5. **現場内無線連携**(段取り・合図・居場所確認)の確立化を徹底する「見えないところも見える」
6. 高所作業時、**ハーネスの2丁掛**の意味についてもう一度考えてみよう「掛替時に災害に隙を与えない」
7. 直近上位や元請様に、**年齢関係なく親切丁寧な会話**を誠意をもって対話する「良心は巡って帰ってくる」
8. ご近隣様へ、日頃から騒音振動など迷惑を掛けいるという意識を持ち、**挨拶や清掃で気持ちを返す**「気持ちは伝わる」
9. **重機配管カバー**は全部取付できているか?「今一度確認!」※破裂飛散 → 車、家等付着 → 清掃処置(損失大)
10. 解体工事を行う上で**必要な設備・資機材**はきちんと揃っているか?「足りなければ手配連絡を!」
11. **熱中症に向けて意識**を高めよう「対策や有事の対応をおさらいしよう!」
12. **有事(災害や事故)**が発生した場合は、必ず直近上位の現場責任者と会社へ連絡「本部にお客先から連絡が着て知ったのでは遅い=印象が大変悪い」
13. 工事車両の退場時、**キャビンの上や荷台の荷崩れしそうな資材は無い**かよく確認「第三者災害の危険」

4月度の重点目標(三項目)

2. 場内の重機作業エリアとの**区画整備・安全通路区画整備の徹底**に努める「重機接触は即死亡災害」
4. 壁倒し後のガラ受けや**犬走の掃除**を毎度忘れずに「そのまま噛んだら足場や近隣様所有物を破損してしまう」
9. **重機配管カバー**は全部取付できているか?「今一度確認!」※破裂飛散 → 車、家等付着 → 清掃処置(損失大)

②現状の作業工程等、気がついた事を報告してください。

～施工中物件～



③その他

先日当社協力会社さんで納めた物件より地中より取り残しのクレームが発生した事案について再発防止のため状況及び今後の対策を共有致します。

1.基礎等撤去物の取り残しについて

対策①撤去対象物解体に伴いとり残しが発生しないよう計画的な解体を徹底する

※オペレータ等が交代する場合は完全撤去済み箇所を含めて現場責任者を介して把握安全な引継ぎ等を実施する

※直近上位お客様が現場にいない場合、責任者は撤去範囲物の撤去完了時に地山が出た様子や撤去範囲物が撤去された様子が確認できる状況写真を撮影し直近上位へのお客様へグループライン等で共有報告を徹底する。

対策②撤去対象以外の箇所の試掘の実施について

※例えばアスファルト舗装の撤去までで、その下は事前に撤去対象外だった場合、現場責任者は、直近上位へ「撤去対象外箇所のため、舗装の下は施工しませんがよろしいか」という旨改めて報告確認をとり、対策①で記した撤去完了済み箇所と合わせて現状の撤去する範囲全てがとり残しなく撤去完了したとの確認をお互いに取り合う。

～ ま と め ～

地中障害物や撤去範囲外のエリア残置などの事案について、直近上位や当社管理者への確認連絡を徹底してもらい発注者まで残置・不施工エリア報告が行き届くよう報告をお願い致します。

地中障害とり残し災害事例①

- ・直近での災害事例写真(建築ゼネコンさんで撤去)後ほど撤去手間及び処分費の請求を受ける



※基礎撤去時の状況写真撮影実施について(お客先監督がない場合)

- ・基礎解体時の撤去状況写真(フーチンレベルまでの撤去状況写真)撤去範囲下部に地山が確認出来た場合はそのレベルで完了。

※地山が出ない場合は撤去範囲深さまで撤去出来ている旨スタッフ等で明示し写真を撮影し撤去が完了している様子を撮影する。(撮影箇所はお客先監督に確認する)

↓↓この写真のケースだと(背面地山)に打たれている山留レールは残しなので地中障害は出ないと予想されるが一応お客先監督へ撤去範囲は撤去完了済みの様子を確認いただき山留の背面は掘削しない(出来ない旨報告、確認する)旨報告する



- ・その他のケース

例えば駐車場アスファルト舗装撤去でその下の掘削が見積りに見込まれていない場合、試掘をするかの確認を当社管理者と取引先に確認をする。

お客先より試掘不要と連絡を受けた場合、現場に監督がない物件では試掘をしていない範囲を図面にマーキングし当社管理者へ渡してください。